

いなばのジビエ連絡協議会設立趣意書

———中山間地域のやっかいものをいなば地域のお宝に———

* 趣旨

鳥取県東部の中山間地域では、猪や鹿等の有害鳥獣による農林産物への被害が増え、捕獲・殺処分される頭数も増加しています。しかしその大部分が廃棄処分されるにとどまっているのが現状です。これをジビエ（野生肉）として有効活用し地域特産品等に育成し売り出したいと考えています。

ヨーロッパでは、猪、鹿等の野生肉は鉄分や不飽和脂肪酸を多く含む非常にヘルシーな高級食材（ジビエ）として珍重されていますが、我が国ではこれまで、日常食べ慣れない食材であるため、今後需要の喚起・拡大を図る積極的な取り組みを行っていく必要があります。

安全安心な獣肉の供給に向け、「鳥取県『イノシシ・シカ』解体処理衛生ガイドライン」の作成（平成23年6月）や食肉解体処理施設の整備が進み、各地域や団体等による有効活用に向けた取り組みも始められています。

そこで、いなば地域のジビエに関心のある飲食店、物産販売店、食品加工業者、食肉処理業者、猟友会、商工会、地域活動団体、自治体等が連携し、ジビエの認知度向上、イメージアップ、消費拡大等に取り組むために、「いなばのジビエ連絡協議会」を設立しようとするものです。

この趣旨に賛同し、加入いただける個人、団体、企業等を募ります。

* 活動内容

- ジビエに関する学習及び情報、活動状況交換
- 先進事例研究
 - ・ 先進地視察
 - ・ 講師を招聘した講習会等の開催
 - ・ 試食会の開催
- イメージアップ及び消費拡大に向けた取り組み
 - ・ 食をテーマにしたイベントへの参加
 - ・ 会員が連携して行う PR イベント活動の支援
 - ・ ジビエに係る活動、取扱い店紹介等のチラシ・パンフ作成

*活動内容については、今後会員の皆様と協議していきたいと考えています。